

第3学年*組 国語科学習指導案

指導者 織田 沙耶子
R3研修センター長期研修

1 単元名 食べ物のひみつを調べて友達に紹介しよう

2 本単元の目標

- (1) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。
(知識及び技能) (2) ア
(2) 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。
(思考力、判断力、表現力等) B (1) ア
(3) 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。
(思考力、判断力、表現力等) B (1) イ
(4) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
(学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①伝えたいことの中心と事例との関係について理解している。 ((2) ア)	①「書くこと」において、集めた材料を比較したり分類したりして、紹介文に生かしている。 (B (1) ア) ②「書くこと」において、内容のまとまりで段落をつくり、文章の構成を考えている。 (B (1) イ)	①今までの学習を生かし、必要な情報や文章の構成について粘り強く検討して、紹介文を書こうとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本教材は、説明的文章「すがたをかえる大豆」を読んだ後にそれを生かして紹介文を書くという「読むこと」と「書くこと」の複合単元である。「すがたをかえる大豆」は、大豆が様々な食品に姿をかえることについて、読み手にとって分かりやすい事例から順に紹介していく文章となっている。読み手のことを考えた文章の構成や、話題の中心となる語を確認しながら読むことによって、見通しをもって紹介文を書く活動に入ることができる。そのため、伝えたいことを明確にし、文章の構成を考えて書くことに適した教材であると考ええる。

(2) 児童観

本学級の児童に対して、伝えたいことを明確にし、文章の構成を考えて書く力に関する実態調査(令和*年*月実施、第3学年*組*人)を行った。調査では、新入生に小学校にある遊具を紹介するという課題で、「初め」「中」「終わり」に分け、三つの遊具と遊び方を紹介するという条件で文章を書く活動を行った。その結果、全ての条件を満たして書くことができた児童は*人であった。それに対して、文章の構成を考えていない児童が*人、文章の構成は考えているが内容と課題がずれてしまった児童が*人、伝えたいことが明確でなく、文章の構成も考えられなかった児童が*人であった。このことから、文章の構成を意識して書くことや、課題を捉えて伝えたい題材を決めることに課題があると分かった。そのため、伝えたいことを明確にし、文章の構成を考えて書く力を育てる学習指導を行う必要があると考える。

(3) 指導観

本単元では、一つの材料が様々な食品になる事例を調べて紹介文を書き、友達や家族に知らせるという言語活動を設定する。まず、関連書籍等、複数の資料から伝えたい題材を選び、情報を収集する。次に、思考を可視化するためのワークシートに情報を整理し、伝えたい内容を明確にする。整理した内容は段落ごとにカードにまとめ、カードを並べ替えることで、文章の構成を検討する。ワークシートを用いて情報を整理する段階から、似ている題材を選んだ児童同士でグループを作り、相互にアドバイスし合う時間を取り入れる。自分たちで考えた「分かりやすい文章を書くためのポイント」をアドバイスカードにまとめておき、それを基に相互にアドバイスをし合うことで、より

注意深く文章を書いたり、構成を考えたりすることができるのではないかと考える。

5 単元の指導計画（8時間扱い）

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価方法・留意点等
1	1	課題 必要な情報を集めるには、どんなことが大切だろう。 ・書籍やインターネット上から必要な情報を集め、付箋を貼ったり、ロイロノート・スクールのカードに記録したりする。 まとめ 必要なところを中心に読んだり、調べたい言葉で検索したりすることが大切である。	○			・気になったページに付箋を貼ることで、後から見直せるようにする。 ・付箋を貼ったページやインターネットで調べた情報は画像としてロイロノート・スクールのカードに記録し、同じ食品についての情報をまとめたり比較したりしてもよいと助言する。 知①：伝えたいことの中心と合った情報を集めているかについて見取り、内容がずれている児童には情報を分類して考えるよう助言する。 【観察、ロイロノート・スクール】 ○ 態①：情報の収集に向かっていない児童を見取り、関連図書を紹介したり、友達の考えを参考にしたりするなどの指導を行う。 【観察】
	2	課題 分かりやすい紹介文を書くためには、どのようなことに気を付ければよいだろう。 ・3種類のモデル文についてグループごとに検討し、分かりやすい文章を書くためのポイントを考える。 ・別の種類のモデル文について考えた班と交流し、意見をまとめる。 まとめ つなぎ言葉や順序に気を付けると分かりやすい。				・接続語が合っていないもの、中心の文が抜けているもの、事例が抜けているものの3種類のバッドモデルを用意し、グループで直した方がよいポイントやよく書けているポイントを考えることができるようにする。 ・ワールドカフェ方式で交流し、各グループの意見を集約する。 思②：分かりやすい構成のポイントを考えているかについて見取り、言葉に表せない児童には友達の意見を参考に考えるよう助言する。 【ワークシート】
2	3 検証授業①	目標：集めた情報を比較したり、分類したりしながら、伝えたいことを明確にすることができる。 1 学習課題を確認する。 課題 集めた情報をどうすれば分かりやすく伝えられるだろう。 2 ワークシートに情報を書き込んで整理する。 3 グループごとにワークシートを読み合い、アドバイスカードを送り合う。 まとめ 集めた情報から必要なものを選んだり、まとめたりすると分かりやすく伝えられる。 4 学習を振り返る。	○			・集めた情報をすべて使うのではなく、必要なものを選んだり、似ている物をまとめたりすることを伝え、情報を整理できるようにする。 ・似たような加工の仕方をしている材料を選んだ児童同士でグループを作ることによって、アドバイスしやすくする。 ・アドバイスカードに分かりやすい文章を書くためのポイントを明確に示すことで、どの児童もアドバイスカードを送れるようにする。 知①：選んだ題材についての情報が書けているかについて見取り、書けていない児童には、口頭で説明させることで考えを整理できるようにする。 【ワークシート】 思①：集めた情報をワークシートの項目に沿って整理しているかについて見取り、書くことに迷っている児童には、分かるところから書くよう助言する。 【ワークシート】

4 5	課題 それぞれの段落には、どのようなことを書けばよいのだろう。	・ワークシートに情報を書き込んで整理する。 ・整理した内容を段落カードに書く。 ・前回と異なるグループに入り、段落カードへの書き方についてアドバイスカードを送り合う。	まとめ 中心になる文と、作り方、食品の例などを書くときよい。	◎	・段落カードにまとめる際に、つくり方が似ているものをまとめたり、説明が難しいものに写真や図をつけたりしてもよいことを確認する。 - 思①：集めた材料を比較したり分類したりして、ワークシートに整理している。 【ワークシート】 ○ 態①：段落カードを書く活動に向かっていない児童には、もらったアドバイスカードを読んで、書かれていることを参考にするよう声を掛ける。 【観察、段落カード】
6 検証授業②	目標：書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、文章の構成を考えることができる。	1 学習課題を確認する。 課題 段落をどの順番で並べると分かりやすいだろう。	2 段落カードを並べ替え、順序に合ったつなぎ言葉を考える。 3 前回と異なるグループに入り、段落の順番について、アドバイスカードを送り合う。 4 もらったアドバイスを、最初のグループで共有する。 まとめ みんながよく知っている食品から紹介すると分かりやすい。	◎	・ワークシートに調べた感想やいちばん伝えたいことを記入しておき、並べ替えるときの参考にできるようにする。 ・適切なつなぎ言葉を意識して選ぶために、段落カードにつなぎ言葉を書く欄を（ ）で示しておく。 ・順番に迷う児童には、他のグループに行く前に、同じグループの友達に確認してもらってもよいと声を掛け、活動に参加できるようにする。 ・もらったアドバイスを共有することで、自分が見落としていたポイントに気付き、よりよい構成を考えられるようにする。 - 思②：内容のまとまりで段落をつくり、段落の順序を考えて並べ替えている。 【段落カード】
3 7	課題 「初め」と「終わり」には、何を書けばよいのだろう。	・清書をし、「終わり」の段落に自分の考えを書く。 ・最初のグループでアドバイスカードを送り合う。	まとめ 「初め」には、何について紹介するか。「終わり」には、自分の考えを書けばよい。	◎	・「初め」と「終わり」に書く内容を全体で確認し、スムーズに清書に入れるようにする。 ・誤字、脱字に気を付け、ていねいに清書をするために、学級の友達や家の人が読むことを確認する。 ・アドバイスカードを送り合う際には、よくなかったところにも着目するよう助言する。 - 知①：伝えたいことの中心に沿った事例を選び、紹介文を書いている。 【紹介文】 ◎ 態①：アドバイス等を参考にしながら、必要な情報や文章の構成について粘り強く検討して紹介文を書こうとしている。 【紹介文】
8	課題 友達の紹介文を読んで、感想を伝え合おう。	・友達の紹介文を読んで、感想を書き、交流する。 ・単元の振り返りをする。			・本にまとめた紹介文を交換して読み、感想を書いた付箋を貼ることで交流する。 ・付箋には、内容についての感想と、文章についての感想のどちらも入れてよいことにする。 ○ 態①：単元全体を振り返り、書くことへの意欲をもち、次の活動につなげようとしている。 【振り返り】

※ワークシート等はこちらからダウンロードできます。

https://kyozai.ibk.ed.jp/resource/resourceDetail/tm_no/20373/spe_typ/0